

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 中島貞夫

山名	鈴鹿山系 霊仙山 1084m	山行名	3月例会					
ルート	今畑—笹峠—近江展望台—霊仙山最高点（三角点）—避難小屋—ピストン							
山行日	2015年3月21～22日	天候	曇り時々晴れ					
参加者	リーダー：中島貞夫 サブリーダー：鈴木正範 男性：佐坂茂美、広瀬秀憲、 女性：染矢つや子、大谷典子、秋山正子、 合計：7名							
ルート概略図	コースタイム							
	地名		時：分		地名		時：分	
	3/21 今畑登山口	集		3/22 避難小屋	着	霊仙山	着	8：45
		発	9：10		発		7：15	
	笹峠	着		近江展望台	着	宗金寺	着	10：05
		発	10：10		発		10：25	
	近江展望台	着	11：25	最高点 （三角点）	着	登山口	着	10：35
		発	12：00		発			
	避難小屋	着	13：00					
		発						
	最高点 （三角点）	着	13：30					
		発						

## 山行報告

テント泊山行は久しぶりなので、打ち合わせをして装備や食料など事前の準備も万端にして、重たくなったザックを背負っての山行になった。天気も良く、風もなく最高の登山日和である。



少し登ったところにある宗金寺で水を補充、付近には福寿草が多く咲いていた。



林を過ぎて笹峠まで行っても笹はまったく見あたらず、この後西南尾根も同じ景色の中を歩いた。

近江展望台で昼食、少しかすんでいるが琵琶湖方面が見える。南霊岳から三角点までの尾根に少し残っている雪を踏んで周囲に福寿草が咲いていないか探しながら進むが岩かげに少し見られただけでほとんどなかった。三角点（1094m）に着き避難小屋が下に見えたので、空いていたから小屋泊まりにしようとして先に小屋を目指して下山して、スペースを確保。多く見られた登山者も



全部下山したようで山上にいるのは我々だけ、見渡す限り白い岩が点在する中で夕日が赤く落ちて湖面に映るのを眺めて感慨にふける至福の時間を味わうことができた。北に大きな、雪を被った伊吹山がデーンと鎮座している、新幹線から見えるのとは又違った山の感じである。経塚山から霊仙山の裾を鹿の群れ2~30頭が西に走ってゆく、明くる朝も10頭以上が西に走っていった。山に笹や草、木が



なくなったのも、シカたないと思った。今夕は大谷さん特番のすき焼きと炊きたてのご飯で皆久しぶりの上等の牛肉で満足した。仮眠室は7人が横になるスペースはあったが、2人はツェルトでのビバークを体験するとのこと外で寝た。感想は当人からおいおい聞けるでしょう。暗くなると下界の、南東に四日市方面、東は大垣、北西に長浜、西に彦根の街明かりが広がってきれいだった。上空は星がまたたき、山でしか見れない空間だ。

翌朝街は雲海に覆われ、上空には青空が広がり、雲の中から赤い太陽があがってきて今日の天気を保証してくれているようである。朝の仕度も早くできたので霊仙山めざしてスタートする、残雪と岩の路を進み30分で頂上に到着、南に御池岳、藤原岳が近くに見えるが御在所岳はかすんで見えない。ここから南霊岳へ直進コースをとる（三角点へ戻るより1時間弱は早くなる）、登りで苦労した西南尾根も順調に下るが重い荷が体を後ろに引っ張る感じがして尻餅を搦くきそうになる。お寺で休憩、お茶タイム、もう少しで登山口。早く下山できたので予定どうりかもしか荘で汗を流した。



ヒヤリハット 無し



## 感想文 秋山正子

3月21、22日に霊仙山へテン泊ということで張り切って申し込みました。なんの知識もなく申し込んだのですが、これがけっこうきつかったです。感想文を書くつもりがなかったのも何もメモをとっていませんでした。9時に登山口を出発、しかし、テン泊ということで荷物はかなり重く、なれない靴も重く、目的地は遠く感じました。心配していた雪もなく、前半はなんとか行けてたのですが、後半の岩だらけの山道は苦勞しました。岩がとんがっていて足を置く場所がなかなかきめられない。たちまち遅れ始めてあせってしまいます。景色を見る余裕もなく、足元ばかりに集中し、ひたすら歩いてやっと霊仙山頂。小休止し、次の山頂へ。なぜか山頂なのに9合目の文字。かわいそうな山。眼下に目指す避難小屋。誰かさん、いきなり走り出す。よくもまあそんな元気が、、、。たしか2時か3時頃到着。夕飯のセッティング。幸い誰もいなくて独占状態。明るいうちに食べようということで、用意していただいたすき焼き、お肉が最高に素敵でした。出てくるお酒も、最高！もう少しほしかったかな？  
一同、満足し、サンセットも見ておやすみです。2人が希望してツウエルトでお休み。



夜中に避難小屋にシャワーが降ってきました。にわか雨のようです。朝、外の二人間満面の笑顔。「よかったよ！雨、降ったんだって？」前日の残りにご飯をいれておじやに。昼用のおにぎりも作っていただいて、出発。今日も快晴です。気持ちも荷物も軽くなり、、しかし私の足取りは重い。靴が重い。なんとか下山し、楽しみのお風呂。いや～。これはよかった。時間も余裕があって、ゆっくりすることができました。2年ぶりのテン泊。いや～、しっかりと体を鍛えないと、反省しきりです。皆さん、ありがとうございました。



雪渓をトラバースする鹿達

写真提供 : 鈴木さん